

# 1 健康と文化の森地区まちづくり基本計画の位置づけ

2015年（平成27年）3月に策定した「健康と文化の森地区まちづくり基本構想（以下「まちづくり基本構想」という。）」は、健康と文化の森地区（以下「本地区」という。）及び周辺の関連計画における位置づけや概況をふまえ、まちづくりに向けた課題をとりまとめ、それをふまえてまちづくりの目標像やそこで営まれるライフスタイルのあり方としてビジョンやテーマを定めたものです。

「健康と文化の森地区まちづくり基本計画（以下「まちづくり基本計画」という。）」は、まちづくり基本構想をもとに、まちづくりの方向性や取組の方針、整備のイメージを示すもので、テーマ毎のまちづくりとして取り組む内容やその留意点、さらに土地利用・交通・都市施設の概ねの配置、規模、構造等について選択肢を含めて様々な可能性を記載しています。

今後、まちづくりの実現化・事業化に向けては、まちづくりの主要要素となるいずみ野線の鉄道の線形や駅の位置、構造等の具体化にあわせて、まちづくり基本計画の内容をさらに詳細化、具体化するとともに、めざすべきまちづくりの目標水準等も明確化し、事業区域の設定や事業計画の前提となる条件を定めていく必要があります。

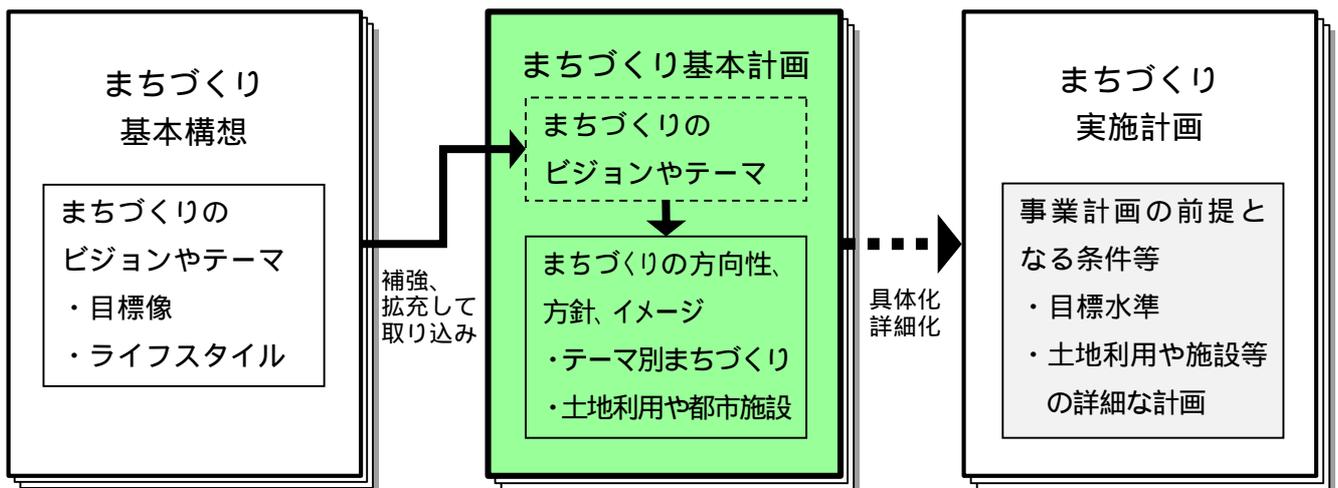


図 まちづくり基本計画の位置づけ